導入事例
Case Study

株式会社エミライ/OPPO Digital Japan 株式会社

PBX のリプレイスで IP-PBX「Primus」を導入

～IVR 機能を利用した CS 向上～

導入企業様の概要

社　　名：株式会社エミライ
所 在 地：東京都品川区大崎 1 丁目 2 番 3 号
代 表 者：河野　謙三
設　　立：2011 年 5 月 6 日
事 業 内 容：IT BCP コンサルティング事業
ホームエンターテインメント事業
国際貿易事業
ホームページ：https://www.emilai.co.jp/

社　　名：OPPO Digital Japan 株式会社
所 在 地：東京都港区南青山 2 丁目 11 番 13 号
代 表 者：河野　謙三
設　　立：2013 年 1 月 29 日
事 業 内 容：OPPO Digital 社製品の総輸入元・販売元
ホームページ：http://www.oppodigital.jp/

今回、PBX のリプレイスで「Primus」を導入いただきました。

導入の背景

同社は、事業拡大を機に自社運用が可能なソフトウェアベースの IP-PBX 導入を検討。

導入に際しては、使用中の他社クラウド PBX サービスで発生する「通話が切れる」「相手の声が聴こえない」「雑音が入る」等を重点課題として、慎重にソフトウェア選定を行われました。その結果、より動作の安定していた「Primus」の導入に至りました。

選択のポイント

・ひかり電話対応

「Primus」が「ひかり電話」に正式対応していること。

・安定性

比較した IP-PBX ソフトウェアの中で一番安定していたこと。

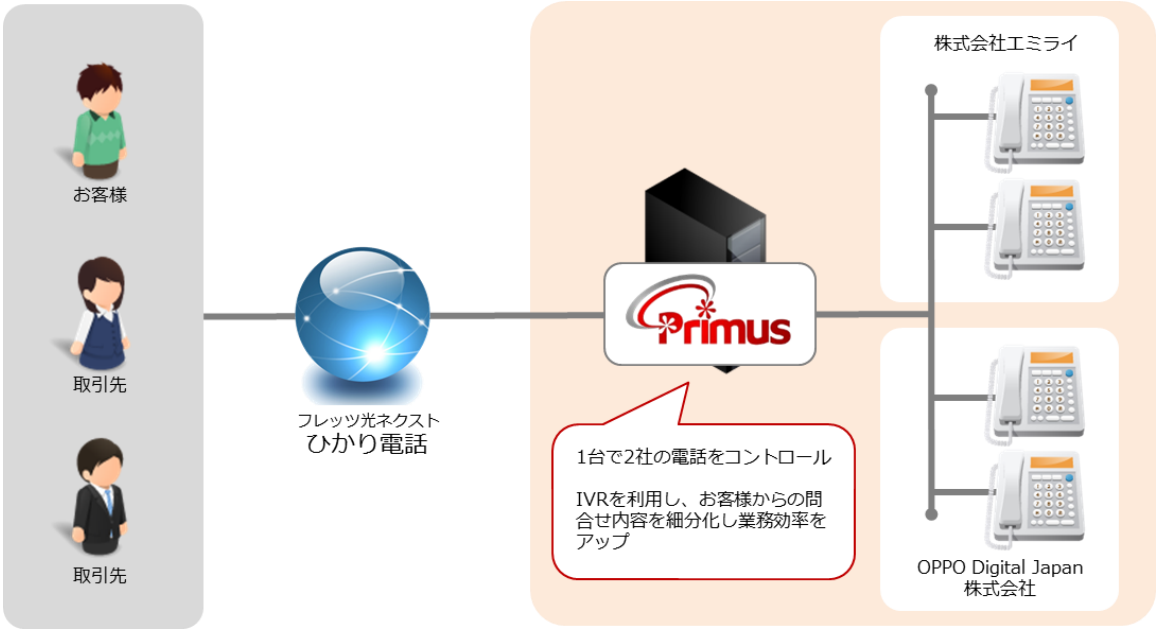
・運用性

電話機増設や設定変更、レイアウト変更作業が自社で可能な実運用面のメリットが大きいこと。

Primus 導入のご感想

導入前に抱えていた課題が全て解決されましたし、何の問題もなく快適に使用しています。特に、設定管理画面が非常に分かり易く、日本の電話文化に特化した Primus へ「おもてなし」の心を感じました。

利用構成



今後の展望

現在は IVR 機能を使用して担当部門に直接電話が繋がるようにされていますが、将来的には顧客 DB と連携し、カスタマーサポートの品質向上、業務効率化を目指すことや、スマートフォンを社内ではビジネスフォンとして、社外では内線電話として使用し、ビジネス効率化も図るとのことです。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせは、以下のフォームよりお問い合わせ下さい。

http://www.andone.co.jp/contact/

株式会社 and One
東京都渋谷区渋谷 1-17-8　松岡渋谷ビル
TEL　03-5774-1660（代）
営業部　安川

※Primus は株式会社 and One の商標または登録商標です。
その他、記載された会社名および製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。

<本リリースに関するお問い合わせ>
株式会社 and One　営業部：安川　03-5774-1660　Mail：and1-pr@andone.co.jp